

日本におけるデジタル化の状況

G584392025 小竹 希

2025 年 6 月 30 日

1 ブロードバンドの整備状況

OECD によるブロードバンド回線の普及に関する調査 [1] によると、図 1 に示すように、日本における 100 人あたりのモバイルブロードバンドの加入者数は 190.5 で、第 1 位になっている。2 位はエストニアで、3 位は米国と続く。

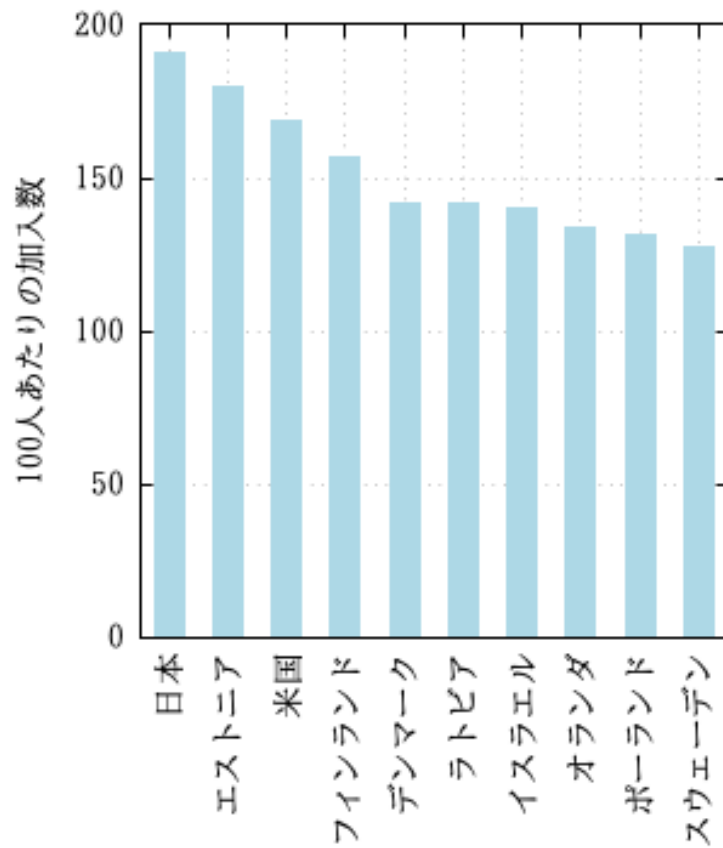


図 1: 光ファイバー回線の加入者数

2 デジタル競争ランキング

国際経営開発研究所（IMD）の調査 [2] によると、日本のデジタル競争力のランキングは表 1 に示すように、調査の対象の 64 カ国中、総合で 28 位、技術分野で 30 位となっている。

表 1: デジタル競争力ランキング（64 カ国中）

国	総合	技術
米国	1 位	4 位
香港	2 位	10 位
スウェーデン	3 位	8 位
デンマーク	4 位	2 位
シンガポール	5 位	3 位
韓国	12 位	13 位
中国	15 位	20 位
日本	28 位	30 位

3 考察：IMD 2021 年ランキングから読み解く現状

- 全分野で課題は「技術」（30 位）、「将来への準備」（29 位）も低く、分野横断的な遅れ。
- 米国は「将来への準備」で 1 位、シンガポールは「技術」「将来への準備」で高評価。
- アジア競合国との差: 韓国（12 位）、中国（15 位）が日本（28 位）を大きく上回り、アジア内での遅れが顕著。

表 2: デジタル競争力ランキング（64 カ国中）

国	総合	技術	将来への準備
米国	1 位	4 位	1 位
香港	2 位	10 位	2 位
スウェーデン	3 位	8 位	3 位
デンマーク	4 位	2 位	5 位
シンガポール	5 位	3 位	4 位
韓国	12 位	13 位	11 位
中国	15 位	20 位	18 位
日本	28 位	30 位	29 位

参考文献

- [1] OECD. Broadband Portal. <https://www.oecd.org/digital/broadband/broadband-statistics/>, 2022.

- [2] IMD. IMD world digital competitiveness ranking. <https://www.imd.org/centers/world-competitiveness-center/rankings/world-digital-competitiveness/>, 2021.